



屋外構造物の立て方

はじめに

屋外構造物に関する共通の注意事項	2
------------------	---

立看板の制作方法

概要	5
材料	5
制作方法	6
注意事項	10
立看板のチェックリスト	10
立看板の処理について	10

パネルスタンドの設置について

ダンボールパネルについての注意事項	12
パネルスタンドの設置について	12
パネルスタンドのチェックリスト	12

はじめに

- 本資料は屋外構造物（立看板・パネルスタンド）を制作・設置する際の手順などについて簡潔に掲載しています。
- 必要に応じて以下のページを参照してください。
 - 立看板の制作方法（→p.5）
 - パネルスタンドの設置について（→p.12）
- また、第3回企画代表者会議にて配布する『Almighty vol. Fes』も併せて確認してください。

屋外構造物に関する共通の注意事項

ペンキを使用する作業について

- ペンキを使用する作業は駒場キャンパスの槌音広場（キャンパスプラザB棟の東側にある舗装された広場）で行ってください。
- ペンキを使用する作業を行う際は、地面を汚さないように十分な対策をとってください。
 - ブルーシートや古新聞などを下に敷いて作業してください。
 - 預入期限まで、駒場キャンパスの委員会室（キャンパスプラザA棟1階103号室）にてブルーシートの貸し出しを行います。なお、貸し出しには学生証が必要です。
- ペンキを水道・トイレに流さないでください。
- ペンキのついた道具の洗浄も禁止です。
 - ハケは使用后、洗わずに燃えないごみとして処分してください。

組立作業について

- 組立作業は、五月祭前日に本郷・弥生キャンパスで行ってください。
 - なるべく設置場所にて作業を行うようにしてください。
- 釘の扱いに注意してください。使用した釘は必ず回収してください。
 - キャンパス内に放置された釘によるけがや車両のパンクなどの事故が報告されています。

設置について

- 設置する際は、4月下旬の「申請結果確認」で発表された場所に正しく設置してください。
- 屋外構造物には必ず十分な量の重石をのせてください。
 - » 1枚看には**54kg**以上、2枚看では**108kg**以上の重石をのせてください。
 - » パネルスタンドでは**36kg**以上の重石をのせてください。
 - » なお、ペットボトルを重石とすることはできません。
- 重石は安定するようにのせてください。
 - » そのままで安定しない場合は紐などを利用して固定してください。
 - » ポリタンクには、水を十分な量入れるようにしてください。

受け取りについて

- 委員会を通じて購入したダンボールパネルは、駒場キャンパス・本郷キャンパスのいずれかで事前に受け取ることができます。
 - » 事前受け取りを希望しない場合は、五月祭前日に本郷キャンパスにて配布します。
- 事前受け取りの際には**正副企画責任者のいずれかの学生証**が必要になります。
 - » 正副企画責任者でなくとも、正副企画責任者いずれかの学生証のコピーを持参すれば、ダンボールパネルを受け取ることができます。
- ダンボールパネルの受け取り場所・受け取り日時の変更を希望する企画は、5月2日（木）21:00までに「問い合わせ」にて連絡してください。

駒場キャンパスでの事前受け取り

- 受け渡しは駒場キャンパスの**キャンパスプラザB棟東の倉庫**にて行います。
- 受け渡し日時は以下の通りです。
 - 5/5（日）・5/6（月） 11:00～12:00、17:00～18:00
 - 5/7（火）～5/10（金） 12:20～12:50、18:45～19:15

本郷キャンパスでの事前受け取り

- 受け渡しは本郷キャンパスの**委員会室（第二食堂3階6号室）**にて行います。
- 受け渡し日時は以下の通りです。
 - 5/8（水）～5/10（金） 12:20～12:50、18:45～19:15
 - 5/11（土）・5/12（日） 11:00～12:00、17:00～18:00

預け入れについて

- 預け入れとは、制作した構造物の運搬を委員会が行うために、企画が委員会に構造物を一時的に預け入れることを指します。
 - » **公共交通機関では運ばないようにしてください。**
- 駒場キャンパスで制作を行う場合、制作した構造物を、**制作後委員会に預け入れることを推奨します。**
- 預け入れを希望する場合、ダンボールパネル・ベニヤ板を下記の期間内にキャンパスプラザB棟東の倉庫に預け入れてください。
 - 5/5 (日)・5/6 (月) 11:00～12:00、17:00～18:00
 - 5/7 (火)～5/10 (金) 12:20～12:50、18:45～19:15
- 立看板は脚を装着した状態で預け入れることはできません。脚の装着は本郷キャンパスにて行うようにしてください。
- 駒場キャンパスで一度預け入れを行った場合には、基本的に前日の本郷キャンパスでのみ返却いたしますので注意してください。
- 本郷キャンパスにて企画が一度預け入れたものを受け取った場合には再度預け入れることはできませんので注意してください。

その他注意事項

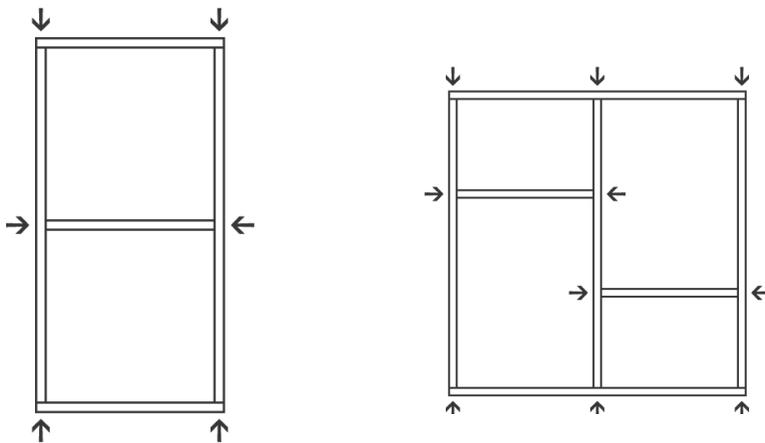
- ベニヤ板・ダンボールパネルの裏面に企画IDおよび企画責任者の電話番号を記載してください。
- 設置を許可されていない屋外構造物は通達なしに撤去する場合があります。
- 制作方法や重石の量などに不備があり委員会が危険と判断した場合や、強風注意報が発令されるなど強風が予想された場合には、問題が解決するまで立看板を倒す、もしくは、立看板の設置を許可しないなどの対応をとる場合があります。
- 制作・設置に用いた場所は、必ず原状復帰してください。

立看板の制作方法

概要

立看板の制作方法について説明します。1枚看の作り方を主に説明しますが、2枚看についても構造としては共通する部分が多いため、その都度分けて説明しています。

材料



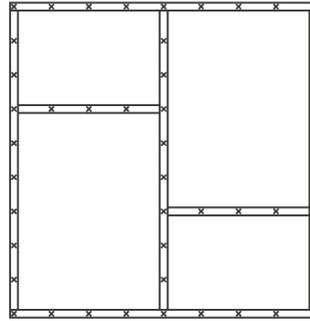
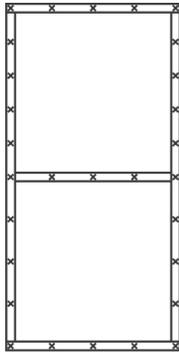
品目	サイズ	数量		用途
		1枚看	2枚看	
垂木	30mm × 40mm × 3,650mm	5本(※)	8本(※)	立看板の本体部・脚の制作
ベニヤ板	1,820mm × 910mm × 2.3mm	1枚	2枚	立看板の本体部の制作
釘	65mm	44本	66本	垂木の打ち付け
	25mm	29本	48本	ベニヤ板の打ち付け
18Lポリタンク または 20kgテント ウェイト		3個以上	6個以上	立看板の重石
雨天対策用の ビニールシート	ベニヤ板を覆うことができる大きさ	1枚	2枚	防水用

※ 切断の失敗や垂木の割れなどの可能性を考慮し、垂木は余裕をもって用意することを推奨します。

制作方法

1. 本体部の制作

- 1枚看・2枚看の本体部の垂木の組み合わせ方は以下の通りです。
 - » 矢印の方向に65mmの釘を2本打ち付けます。
- 本体部については、ベニヤ板のサイズが厳密に一定ではないのでベニヤに合わせて垂木を切断してください。



- 垂木は幅30mmの面をベニヤに打ち付ける向きで使用します（本体部を寝かせたときに40mmの高さになるようにします）。

1-1. 外枠を組む

- ベニヤ板の外枠となる垂木4本（2枚看の場合は5本）を組みます。
- ベニヤ板に合わせて垂木に印をつけ、切断します。
 - » 垂木の重なり方が図のようになるよう注意してください。
 - » 1本切った後はそれに合わせて切ると作業が早く進みます。
- 垂木を図のように組み、65mmの釘を打ち付けます。
 - » 釘は垂木の接合部1か所につき必ず2本打ってください。

1-2. 間を支える垂木をはめ込む

- 組みあがった外枠に合わせて、間を支える1本（2枚看の場合は2本）を切断し、はめ込んで65mmの釘を打ち付けます。
 - » 切断する段階で誤差が出ると十分に固定されなかったり、枠がゆがんだりするため、十分注意して切断してください。
 - » 間を支える垂木は、おおむね縦の長さを二等分（2枚看の場合は三等分）する位置に入れるようにしてください。

1-3. ベニヤ板を打ちつける

- 枠が完成したら、25mmの釘を使ってベニヤ板を打ち付けます。
 - » 立看板を立てたときに下側になる部分は、枠からベニヤ板がはみ出さないよう、枠とベニヤ板をしっかりと揃えてください。
- 釘は組んだ垂木5本（2枚看の場合は7本）すべてについて打ち付けてください。
- 下の図を参考にして釘を打ち付けてください。（×の位置に釘を打ち付けます。）
 - » 1枚看の場合、縦方向の垂木には最低10箇所、横方向の垂木には最低5箇所打ち付けてください。
 - » 2枚看の場合、縦方向の垂木には最低10箇所、横方向の垂木には最低9箇所、間を支える垂木には最低5箇所打ち付けてください。

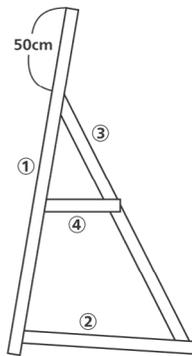
1-4. ビニールシートを巻く

- ビニールシートで立看板を覆って4辺で折り返してください。折り返した部分をテープで止めた後、四隅を釘で固定します。

2. 脚の制作

垂木を切り出す長さ	切り出す本数	
	1枚看	2枚看
1,500mm	2	3
1,000mm	2	3
500mm	2	3
900mm	2	
1,800mm		2

- 脚の付き方を横から見た図は以下の通りです。



- 手前に表示されている木材が外側に来るように組み立ててください。
- ①は本体部で、②③④との接合部分はすべて本体部の内側にあります。
- 寸法は、②が1,000mm、③が1,500mm、④が500mmです。
- 垂木はすべて、釘を打ち付けるのが幅40mmの面になるように使用します。
- 釘は必ず外側から内側に打ち付けてください。
- 2枚看の中央の脚を取り付ける方法は、左右どちらかの脚にならってください。

2-1. ②と③の垂木を本体に打ち付ける

- 本体を寝かせ、②と③の垂木を本体に打ち付けます。
 - » 2枚看の中央の脚はまだ打ち付けないでください。
 - » この段階では、次の工程で脚の角度を調整できるように、釘を1本のみ打ってください。

2-2. 角度を調整する

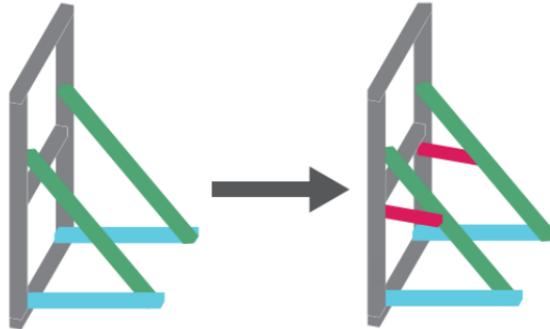
- 本体を立て、脚の角度を調整します。
 - » 少し寝かせた方が安定し、内容も見やすくなります。

2-3. ②と③を完全に打ち付ける

- 左右両側の角度が調節できたら、②と③の垂木を接合し、本体と②③を接合する2本目の釘も打ち付けます。
 - » 2枚看については、このタイミングで同様に中央の脚も付けます。

2-4. 脚を補強する

- ④の垂木（赤）を打ち付けて、脚を補強します。
 - 本体部の内側かつ③の垂木（緑）の外側に取り付け、また必ず外側から釘を打ち付けてください。
 - 脚の重なり方と強度を確認してください。



2-5. 脚同士を補強する

- 900mm（2枚看の場合は1,800mm）の垂木を2本以上使い、2本の脚をつなぎます。
 - 補強の方法は図を参考にしてください。
 - 補強に用いる垂木の部分は重石を置く台になります。重石を安定した状態で置けるよう、垂木同士の間隔に注意してください。
 - 補強に用いる垂木は、なるべく本体から遠い位置に打ち付けてください。
 - 補強に用いる垂木は、40mmの面を下にして、接合部になるべく近い位置に、200mmほどの間隔で、65mmの釘を1か所に2本ずつ用いて脚と接合してください。
 - 垂木が余っている場合は、さらに補強を加えてください。



3. 完成

- 強度に問題がないか、歪みやぐらつきがないか、最後にもう一度確認してください。
- 立看板の設置に際しては、以下のチェックリストの項目も確認してください。

注意事項

- 立看板を木や電柱などの大学が管理している物に固定することはできません。
- 立看板の強度に対しては細心の注意を払ってください。
 - » 「釘は垂木の接合部1か所につき必ず2本打つ」「割れのある木材は使用しない」など、強度が満たされているかよく確認してください。

立看板のチェックリスト

- 釘・垂木などにより立看板の強度は十分である。
- 釘を打った部分などの垂木が割れていない。
- 作業を行った場所に、釘・工具・ごみなどが残っていない。
- 十分な量の重石が乗っている。
- 立看板の裏面に、企画IDおよび企画責任者の電話番号が記載されている。

立看板の処理について

五月祭期間前に排出される廃棄物について

- 制作場所の規則などを遵守したうえで処理してください。

五月祭期間に排出される廃棄物について

事前の申請について

- 五月祭期間中に排出された立看板に関連する廃棄物については、原則として事前の申請があったものに限り、委員会が回収します。
 - » ただし、申請がない場合でも廃棄物の量及び付着物の程度によっては回収することができる場合がありますので、排出の可能性が生じた時点で速やかに「問い合わせ」にて連絡してください。
 - » 回収することができない廃棄物は各企画で持ち帰っていただきますので注意してください。

ごみの分別について

具体例	分別項目	注意事項
ベニヤ板・垂木など	木材	<ul style="list-style-type: none"> • 塗装をはがす必要はありません。 • 金や銀の塗装を塗る場合で、「[18]ごみ排出申請」にて申請を行っていない場合は、速やかに「問い合わせ」にて連絡してください。 • 釘が刺さった木材を廃棄する場合は、釘が飛び出ないように中に打ち込んでください。 • 木材の長さが2m以下になるように解体して運んでください。
ポリタンク	ビニール・プラスチック	<ul style="list-style-type: none"> • 重石として利用した場合、中の水は捨ててから持参するようにしてください。
釘	埋め立て	<ul style="list-style-type: none"> • 木材に刺さった釘は、中に打ち込んで木材として廃棄してかまいません。
紐（ビニール類）	ビニール・プラスチック	
紐（金属）	特殊ごみ	
紐（麻等）	燃やすごみ	
立看板用ビニールシート	ビニール・プラスチック	

- ペンキ、解体に利用した工具類などは回収することができませんのでご注意ください。
- 木材はごみ袋に入れる必要はありません。
- 鋭利なものの廃棄を希望する場合は、委員の受傷防止のため、袋に入れる・尖端部を切断するなどのご協力をお願いします。

パネルスタンドの設置について

ダンボールパネルについての注意事項

※「パネルスタンド 貼付型 L」はスタンドに直接パネル・展示物を貼り付けるため、以下の注意事項には該当しません。ここでは「パネルスタンド PISA」についての注意事項を説明します。

※「パネルスタンド 貼付型 L」は、A3-A4までの大きさのものを安定して貼り付けることができます。

- パネルスタンドに設置できるパネルの大きさは「幅460～800mm×高さ350～1,100mm」です。
 - » 委員会を通じて購入することのできるダンボールパネルは「ダンボールパネル大（幅900mm×高さ1,800mm）」と「ダンボールパネル小（幅760mm×高さ1,030mm）」となります。
 - » **ダンボールパネル大を使用する場合は、パネルスタンドに収まる大きさに加工する必要があります。**ダンボールパネル小は加工せずそのまま使用することができます。
- 預け入れの際には以下の条件に留意してください。条件に沿っていない場合、委員会が輸送する際に破損する可能性が高まりますが、破損した場合も責任を負いかねます。
 - 長方形であること
 - サイズが450mm×1,800mm・900mm×1,800mm・760mm×1,030mmのいずれかであること

※ 条件に沿わない形にしたい場合は、五月祭前日に受け取った後に加工することを推奨します。

パネルスタンドの設置について

- パネルが適切にパネルスタンドに固定されているか確認してください。
- ダンボールパネル用のビニールシートを購入している企画は、設置の前にダンボールパネルをビニールシートで保護しておくようにしてください。
- 設置は**五月祭1日目・2日目朝**に行ってください。
 - » 盗難などの恐れがあるため、企画公開時間外はテント内などで保管してください。
 - » 企画公開時間後は必ずテントの中などに収納し、翌日の設置可能時間に設置し直すようにしてください。

パネルスタンドのチェックリスト

- パネルはパネルスタンドに固定されている。
- 十分な量の重石が乗っている。
- 企画場所のすぐそばにパネルスタンドが設置されている。
- パネルの裏面に、企画IDおよび企画責任者の電話番号が記載されている。

屋外構造物の立て方

2024年4月22日（月）発行

発行：第97期五月祭常任委員会

Email: contact@gogatsusai.jp

※企画関係者は、原則としてウェブシステムの「問い合わせ」を利用してください。

本郷本部

〒113-8654
東京都文京区本郷7-3-1
東京大学構内
第二食堂3階6号室
TEL: 03-5684-4594

駒場支部

〒153-8902
東京都目黒区駒場3-8-1
東京大学構内
キャンパスプラザA棟1階103号室
TEL: 03-5454-4349